

2024

Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2024年3月期・営業のご報告



取締役社長 中澤 宏
(北陸銀行 頭取)



取締役副社長 兼間 祐二
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ各社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興が進みますようお願いいたします。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2024年3月期・営業のご報告)」をお届けいたします。本誌では、2024年3月期の業績ならびに各種取り組みについてご紹介しております。

さて、当社グループの主要営業地域である北陸三県においては、

令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果もみられる等、景況感は緩やかに持ち直しつつあります。また、北海道においては、個人消費、観光は着実に改善傾向が続いており、今後は電子デバイス関連産業や環境関連産業を中心とした新たな設備投資も期待されております。

こうした中で、第5次中期経営計画『Go forward with Our Region』の重点分野への取り組みについてはSXやDX、人的資本経営等の専門部署を設置し、取り組みを加速させております。また、多様化するお客さまのコンサルティングニーズに応えるため、当社グループ内にほくほくコンサルティング株式会社を設立し、営業を開始する予定です。

地域金融機関にとって「地域に根差した活動こそ原点である」との考えに基づき、地域社会やお客さまの課題解決を起点として、地域の発展と当社グループの成長を両立する姿を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年6月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ	01
長期ビジョンと中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGsへの取り組み	09
株式のご案内	14

長期ビジョンと長期戦略

長期ビジョン | 課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する

ほくほくフィナンシャルグループは、長期ビジョンを実現するため「課題解決力進化」「経営基盤構築」「企業風土醸成」の3つの長期戦略を進めてまいります。

中期経営計画の概要

『Go forward with Our Region』 2022年4月～2025年3月

位置づけ | 長期ビジョンの実現に向けて、コンサル対応力の向上やDXの推進等による生産性の向上に取り組むとともに、環境分野など新たな事業領域に挑戦する期間

ほくほくフィナンシャルグループは、各ステークホルダー（地域社会、お客さま、株主の皆さま、従業員等）の当社グループに対する期待・ニーズにしっかりと応えるため、課題解決力の強化やビジネスモデル変革に挑戦してまいります。

6つの重点戦略



重点指標

連結/2行合算	2023年度実績	2024年度(計画最終年度)	長期目標
連結当期純利益	230億円	250億円以上	350億円以上
連結自己資本比率	9.40%	9%台後半	12%以上
OHR	65.24%	60%台前半	50%台
非金利収入比率 (非金利収入額)	15.98% (190億円)	16%台 (200億円以上)	18%以上 (250億円以上)
環境関連投融資実行額(累計)	2,295億円	2,100億円	7,000億円

※OHR、非金利収入比率(額)、環境関連投融資実行額は2行合算

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	2024年 3月期	前 期 比	2023年 3月期
経常収益	1,901	22	1,878
経常利益	232	△ 31	263
親会社株主に帰属する当期純利益	230	16	214
自己資本比率	9.40%	△ 0.09%	9.49%

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位: 億円)

	2行合算		
	2024年 3月期	前 期 比	2023年 3月期
経常収益	1,761	19	1,741
コア業務粗利益	1,188	△ 10	1,198
経費 (臨時処理分を除く)	775	27	747
コア業務純益	413	△ 37	450
除く投信解約損益	406	△ 34	441
与信費用	△ 12	△ 90	77
経常利益	228	△ 41	269
当期純利益	267	37	230

(単位: 億円)

	北陸銀行		
	2024年 3月期	前 期 比	2023年 3月期
経常収益	1,008	36	972
コア業務粗利益	668	15	652
経費 (臨時処理分を除く)	408	13	394
コア業務純益	259	1	258
除く投信解約損益	253	4	249
与信費用	0	△ 93	93
経常利益	151	5	145
当期純利益	182	39	143
自己資本比率	9.12%	0.06%	9.06%

[連結]

経常収益は、株式等売却益の増加および貸倒引当金戻入益の計上を主因に増加しました。経常費用は、海外金利の上昇を主因とした資金調達費用の増加や、国債等債券売却損の増加、営業経費の増加により増加しました。

この結果、経常利益は減少しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、退職給付信託解約益の計上や税金費用の減少等により増加しました。

[セグメント]

北陸銀行では、コア業務粗利益は、貸出金利息や有価証券利息の増加を主因に増加しました。経常利益は、与信費用が減少したこと等から増加しました。当期純利益は、過年度の有税引当金の無税化に伴う法人税等の減少により増加しました。

北海道銀行では、コア業務粗利益は、貸出金利息と役員取引等利益が増加した一方、有価証券利息の減少を主因に減少しました。株式等損益が増加した一方、国債等債券損益が減少したこと等から経常利益は減少したものの、当期純利益は、退職給付信託解約に伴う特別利益の計上もあり、前期比同水準となりました。

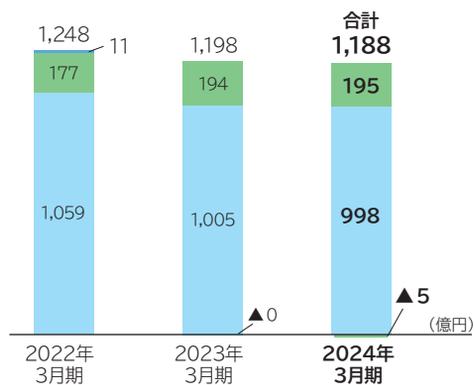
(単位: 億円)

	北海道銀行		
	2024年 3月期	前 期 比	2023年 3月期
経常収益	752	△ 16	769
コア業務粗利益	520	△ 25	546
経費 (臨時処理分を除く)	366	13	353
コア業務純益	153	△ 39	192
除く投信解約損益	153	△ 39	192
与信費用	△ 13	3	△ 16
経常利益	77	△ 47	124
当期純利益	85	△ 1	87
自己資本比率	8.97%	△ 0.02%	8.99%

損益の状況

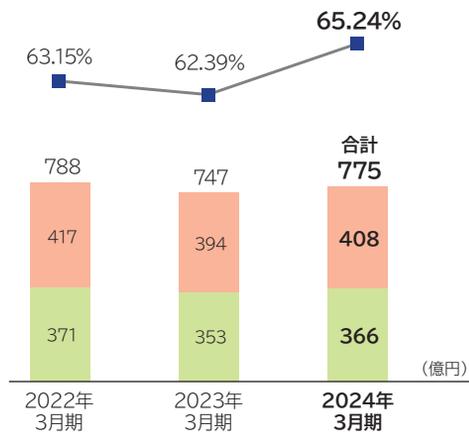
■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



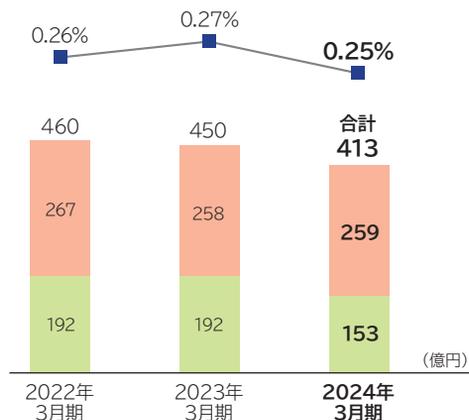
■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR



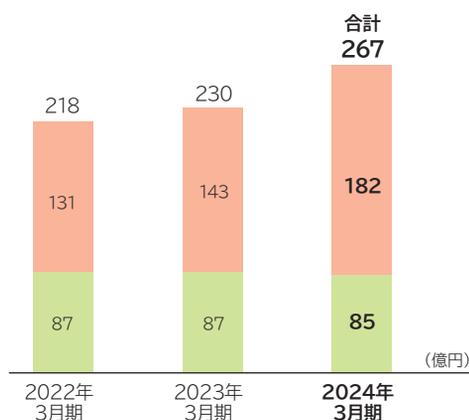
■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA



■ 当期純利益<2行合算>

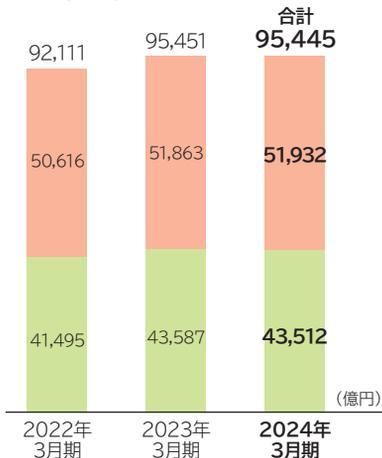
■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



貸出金・預金等の状況

■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

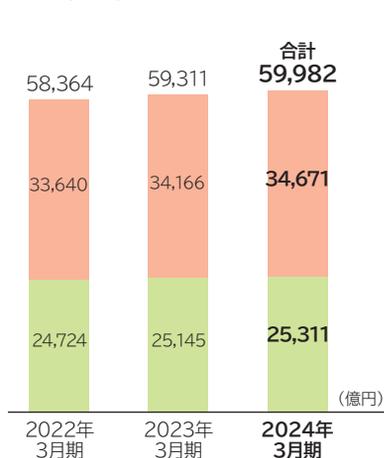


貸出金
9兆5,445億円

公金貸出は減少したものの、中小企業向け貸出および個人ローンが堅調に推移し、前期末と同水準となりました。

■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

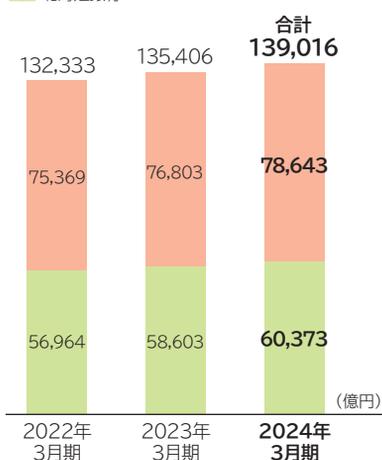


中小企業等貸出
5兆9,982億円

住宅ローンの増加を主因に、前期末比671億円増加しました。

■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

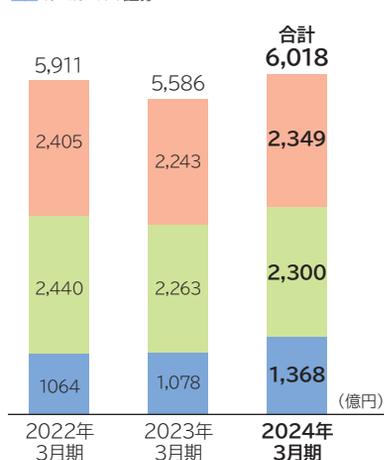


預金(含む譲渡性預金)
13兆9,016億円

個人預金・法人預金ともに増加し、前期末比3,609億円増加しました。

■ 個人向け投資型金融商品<2行合算+ほくほくTT証券>

北陸銀行
北海道銀行
ほくほくTT証券



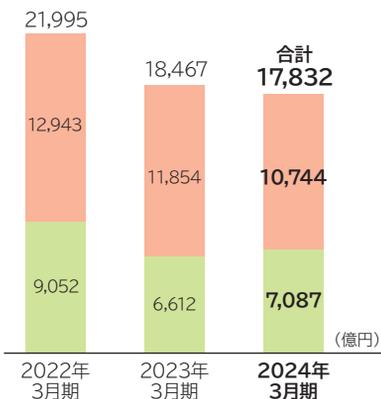
個人向け投資型金融商品
6,018億円

個人向け投資型金融商品は、外貨預金および公共債が減少しましたが、投資信託の取扱い増加により、前期末比432億円増加しました。

有価証券残高・健全性の指標

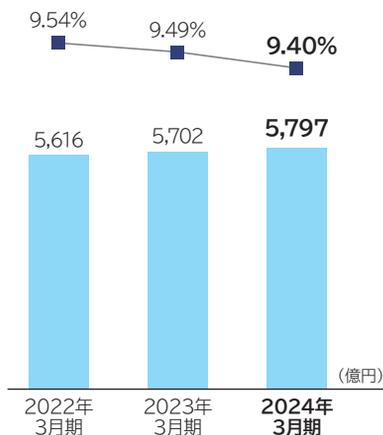
■ 有価証券残高<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



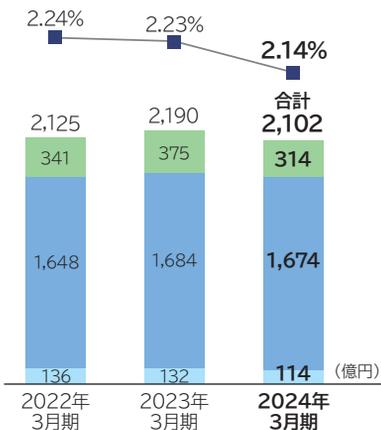
■ 自己資本比率<FG連結>

自己資本
自己資本比率



■ 金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率



■ 格付

格付投資情報センター

R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

名称	株式会社ほくほくフィナンシャルグループ		
本店所在地	富山市町町通り1丁目2番2号		
資本金	708億9,500万円		
発行済株式	普通株式	125,370,814株	
	第1回第5種優先株式	53,726,000株	

設立日	2003年9月26日
業務の内容	1.傘下子会社の経営管理および附帯業務 2.その他銀行法が認める業務
従業員数	150名

取締役の役職および氏名

(2024年6月21日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	中澤 宏	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役副社長	兼間 祐二	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	舟本 馨
取締役	高田 芳政	取締役監査等委員(社外)	小川万里絵
取締役	坂本 嘉和	取締役監査等委員(社外)	横井 裕
取締役	西野 太郎	取締役監査等委員(社外)	牧野 真也
取締役	大塚 直久		

組織図

(2024年6月21日現在)



各組織の構成および役割等

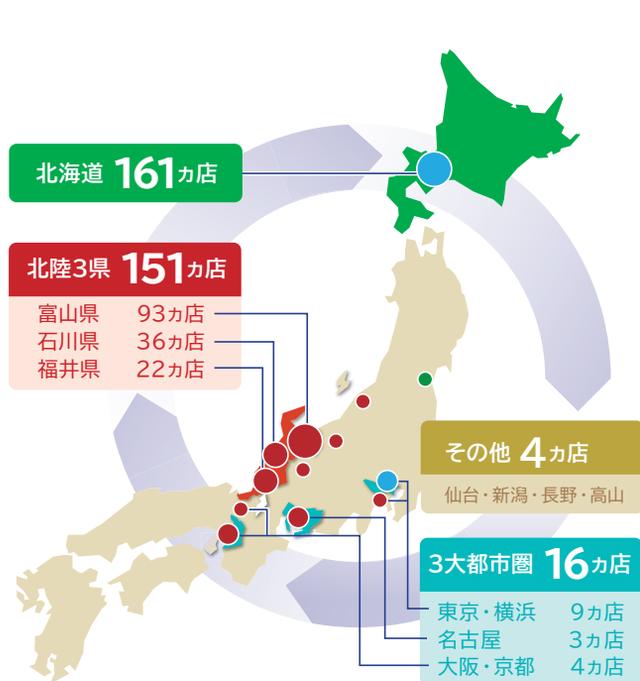
取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。5名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
指名・報酬委員会	取締役・経営陣幹部の人事・報酬に関する事項について適切な助言・関与等を行います。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。
フィデューシャリー・デューティ推進委員会	グループ全体における顧客本位の業務運営の実践状況を確認・評価し、必要な対応・改善策を講じます。
サステナビリティ推進委員会	グループ全体のサステナビリティ経営の方向性を協議し決定します。
グループ経営戦略会議	当社子会社、関連会社等の営業の方向性や基本戦略を協議するとともに、各社の営業状況の把握を通じてグループ内の連携強化を図ってまいります。
ALM・リスク管理委員会	グループ各社のALM・リスク管理に関して、グループ全体の目線で統合的に認識・把握・管理し、グループ経営の健全性確保と収益性向上を図るために、各種方針を決定します。

グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	ほくほくTT証券(株)
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務等を行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務等を行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託等を行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務等を行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理・回収業務受託等を行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務等を行っています。
ほくほくコンサルティング(株)	M&Aアドバイザリー業務、事業承継コンサルティング業務、経営コンサルティング業務等を行います。

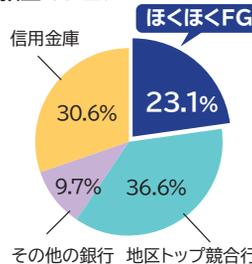
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域地域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域とお客さまの繁栄に貢献していきます。

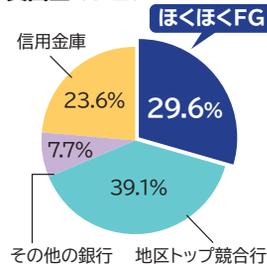


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

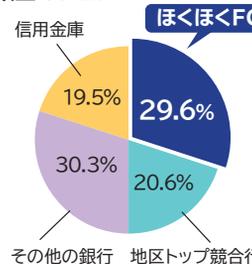


貸出金のシェア

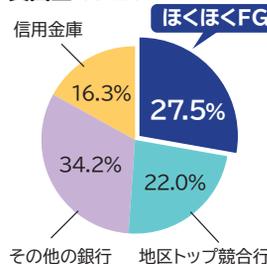


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2023年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」シェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

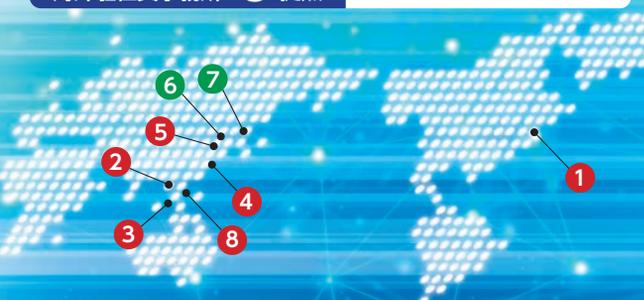
グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先のお客さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- ① ニューヨーク駐在員事務所
- ② バンコク駐在員事務所
- ③ シンガポール駐在員事務所
- ④ 上海駐在員事務所
- ⑤ 大連駐在員事務所
- ⑥ 瀋陽駐在員事務所
- ⑦ ウラジオストク駐在員事務所
- ⑧ ホーチミン駐在員事務所

海外駐在員事務所 **8** 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 2



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しております。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

2019年4月1日



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	持続可能な地域社会の実現 E S G ◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する
	◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める
	地域における金融リテラシーの向上 S ◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築 G ◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する
	すべてのお客さまにとっての利便性の向上 S ◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める
進取創造	生産性向上に繋がる職場づくり S ◆多様な人材の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人材の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む

E … 環境 S … 社会 G … ガバナンス



北陸銀行の取り組みをご紹介します!

北海道銀行の取り組みをご紹介します!



持続可能な地域社会の実現

ほくほくFG ほくほくコンサルティング株式会社の設立

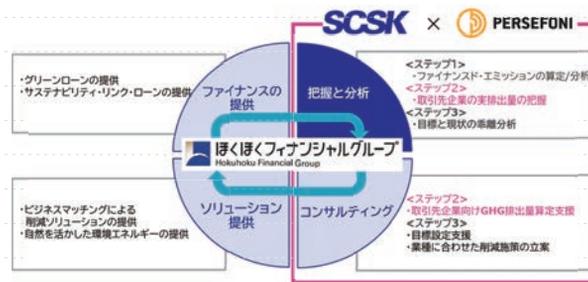
当社グループ傘下の北陸銀行及び北海道銀行の知見、経験を結集してお客さまのニーズや課題に対応することを目的にほくほくコンサルティング株式会社を設立することといたしました。

北陸銀行及び北海道銀行が行うコンサルティング業務のうち、M&Aアドバイザー、事業承継コンサルティング、経営コンサルティングを当初の業務とする予定です。ワンチームになることでシナジー効果を発揮しながら、質の高いサービスを提供・拡張することによりお客さまの様々な課題解決に貢献してまいります。



ほくほくFG 取引先企業向けにパーセフォニ社プラットフォームを用いたGHG 排出量算定支援の検証を開始

SCSK株式会社の支援のもと、2023年10月からパーセフォニ社が提供する「気候管理・炭素会計プラットフォーム(CMAP)」を活用した GHG 排出量算定支援および実排出量データの取得実現に向けた検証を開始しました。取引先企業の実排出量データを把握し、精緻な排出量データを元にした質の高いエンゲージメントを実現することで地域の脱炭素化を促進してまいります。



北陸銀行 「ほくりくONEチームプロジェクト “のとのWA”」の取り組み

北陸銀行は、地震により被災された方々や被災地域の復興を支援する取り組みとして、幅広い金融サービスや広域店舗ネットワークを活用し、復興応援企画「ほくりくONEチームプロジェクト “のとのWA”」を展開しております。

また、震災復興を目的として役職員が個人で現地のボランティア活動に従事する際に、最大7日間の休暇取得(有給扱い)ができる制度を新設し、役職員が復興支援に取り組むことのできる体制を整えております。



“のとのWA”の金融サービスの一例

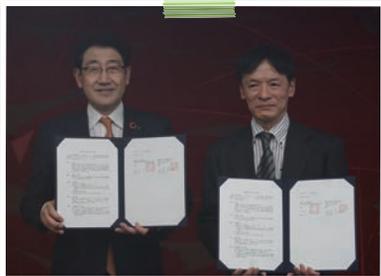
- 寄贈型SDGs私募債
- 企業版ふるさと納税
- ほくほくビジネスマッチング
- 義援金口座の取り扱い

北海道銀行

独立行政法人国際協力機構北海道センターと 「業務連携・協力に関する覚書」の締結

独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」）北海道センターと「業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。同センターとの業務連携は道内に本拠地を置く地方銀行では初めてとなります。

途上国の開発への貢献が期待される優れた技術・製品を有する道内企業の海外進出は、北海道の競争力強化と活性化に資することであり、道内企業の課題解決にもつながることから、JICAと連携により道内企業のグローバルな活動をサポートしてまいります。



北海道銀行

令和5年度地方創生に資する金融機関等の 「特徴的な取組事例」に係る表彰を受けました

地方創生に資する取組の一つである「北海道初の酒造好適米『山田錦』栽培支援の取組～道銀・酒米プロジェクト～」が「特徴的な取組事例」として国から認定され、表彰を受けました。

表彰式はオンラインにて開催され、自見はなこ内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から表彰状が授与されました。当行が本表彰を受けるのは、3年連続5回目となります。

北海道銀行は、今後も農業生産者の多様なニーズに対し、実践的なサポートを実施することで、農業経営の成長を促進し、北海道農産物の高付加価値化や地域経済の活性化に貢献していきます。



地域における金融リテラシーの向上

ほくほく
FG

小中高生向けに金融経済教育「出前授業」、 「職場体験学習」を実施

北陸銀行、北海道銀行およびほくほくTT証券では、金融リテラシーの向上を目的として、営業エリアの小中学生および高校生を対象に、「出前授業」や「職場体験学習」などの金融経済教育を実施しました。2023年10月から2024年3月にかけて、計106校7,634名の生徒に受講いただきました。

ほくほく
FG

エコノミクス甲子園を開催

高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金との関わり方やライフデザインを考えるきっかけとしてもらうことを目的に、毎年12月にエコノミクス甲子園を開催しています。

北陸銀行では富山大会、福井大会を、北海道銀行では北海道大会の運営を行いました。2024年2月に行われた全国大会では、富山県代表チームが見事に5位入賞しました。



健全で強靱な経営基盤の構築



ほくほく FG 人権方針の制定

サステナビリティ経営のさらなる推進および人的資本経営の実践を図る観点から、「ほくほくフィナンシャルグループ人権方針」を制定しました。

役職員一人ひとりの個性や多様性を尊重し、相談できる窓口を

設置する等、役職員が持てる能力を最大限発揮できる環境を整備するとともに、お客さまに対して提供するサービスが人権の侵害の発生に影響を与える場合には、当社グループとして適切に対応し、お客さまにも適切な対応をとるよう働きかけます。

事業活動を通じて、お客さまや役職員をはじめ、あらゆるステークホルダーの人権が尊重される社会の実現に取り組んでまいります。

すべてのお客さまにとっての利便性の向上



ほくほく FG 取引先企業の課題解決を支援するオンラインサービスを導入

北陸銀行および北海道銀行は、取引先企業のDXを支援し、地域経済の発展に寄与することを目的として、法人・個人事業主のお客さま向け会員制ポータルサイトの新サービスとして、株式会社BusinessTechと提携し、課題解決プラットフォーム「ビジクル」を導入しました。

ビジクルは、自社のDXに取り組みたいお客さまへ最新のソリューションをお届けするとともに、診断や他社事例といった潜在的なニーズを見える化するための機能を備えたプラットフォームです。自社に最適なソリューションを見つけ、すぐに提案を受けることができるようになります。ビジクルを利用することで、オンラインでの課題解決が可能となり、よりお客さまの経営に役立てていただけます。

北陸銀行 セブン銀行新型ATMを活用した新サービスの開始

セブン銀行の新型ATMにて北陸銀行の口座開設、住所変更、電話番号変更、在留期限情報提出の申し込みが可能となるサービスを開始しました。

これまで北陸銀行では、銀行窓口や郵送、アプリにて口座開設・住所等の変更手続きが可能でしたが、最大24時間利用可能なセブン銀行ATMでも同様の手続きが可能となります。



生産性向上に繋がる職場づくり

ほくほく
FG

「ほくほく札幌ビル」の竣工について

2024年2月、北陸銀行札幌支店の跡地に統合20周年を迎える当社グループの新たなシンボルタワーとして「ほくほく札幌ビル」を竣工いたしました。2階では北陸銀行札幌支店が営業し、上階では北海道銀行の本部機能及びグループ会社を移設する等、当社グループの融合と相互連携を象徴する施設となっております。グループ全役職員が一体となり、お客さまにより質の高いサービスを提供し、新たな拠点が地域のみなさまに長く愛される場となるよう努めてまいります。

ほくほく
FGほくほくフィナンシャルグループ合同
退職者(アルムナイ)交流イベントの開催

退職者(以下、アルムナイ)同士やアルムナイと当社グループ役職員との交流を促進する目的で、2024年2月13日に当グループでは初となるアルムナイイベントを東京にて開催いたしました。

当社グループでは、長期ビジョンに基づく「人的資本経営取組方針」の具体的なアクションとして、2023年8月に人材の資産化に向けたタレントプール「ほくほくアルムナイ」を構築。過去当社グループと接点を持っていた方々に対して、これまで以上に当グループに魅力を感じてもらえるような取り組みや情報発信を継続してまいりました。その結果、200名を超えるアルムナイに「ほくほくアルムナイ」として、ご登録をいただいております。

今後も継続的な情報交換を通じて、幅広いフィールドで挑戦し、多様な知見を持つ「ほくほくアルムナイ」と繋がりながら、ともに新しい価値を生み出していくための機会を創出していきます。

株主総会資料の電子提供制度について

1. 株主総会資料の電子提供制度

会社法の改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始され、これまで書面でご提供しておりました「株主総会招集ご通知」は、今後、当社ウェブサイト等に掲載する方法に変わります。なお、掲示するウェブサイトのURLや日時・場所等は株主総会を開催する都度書面にてご通知いたします。

2. 書面交付請求

引き続き「株主総会招集ご通知」を書面で受領されることを希望される株主様は、株主総会の基準日までにお手続きいただくと、これまでどおり書面にてお受け取りいただけます。

〈書面交付請求のお申し出〉

お取引の証券会社、または当社株主名簿管理人(以下)にて所定のお手続きをお取りください。

株主名簿管理人	みずほ信託銀行 証券代行部		
専用ダイヤル	0120-524-324	受付時間	平日9:00~17:00

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(プライム市場)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
		みずほ フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
支払明細の発行	みずほ信託銀行の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
------------	--------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円)

2022年度	2023年度	2024年度 (予定)
37.0 (期末 37.0)	40.0 (期末 40.0)	40.0 〔中間 20.0 期末 20.0〕

2023年度の普通株式配当につきましては、前期比3円増配の、期末一括配当1株当たり40円とさせていただきます。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

経営企画部広報CSRグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西2丁目5番地 ほくほく札幌ビル内

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブラインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。